

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年3月28日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

か、「花粉」だ!!

今年の冬は、全国的な大雪もありかなり寒かったようですが、3月に入ってから暖かい日差しを感じられる日も多くなりました。桜もそろそろ満開になっている頃でしょうか。

春といえば、新しい生活が始まる人も多く明るい感じの季節ですが、花粉症の人にはとてもつらい季節でもあります。そこで、今回の統計アラカルトでは花粉について調べてみます。

環境省では、スギ・ヒノキの花粉飛散量の予測を行っています。どのように予測しているのでしょうか？

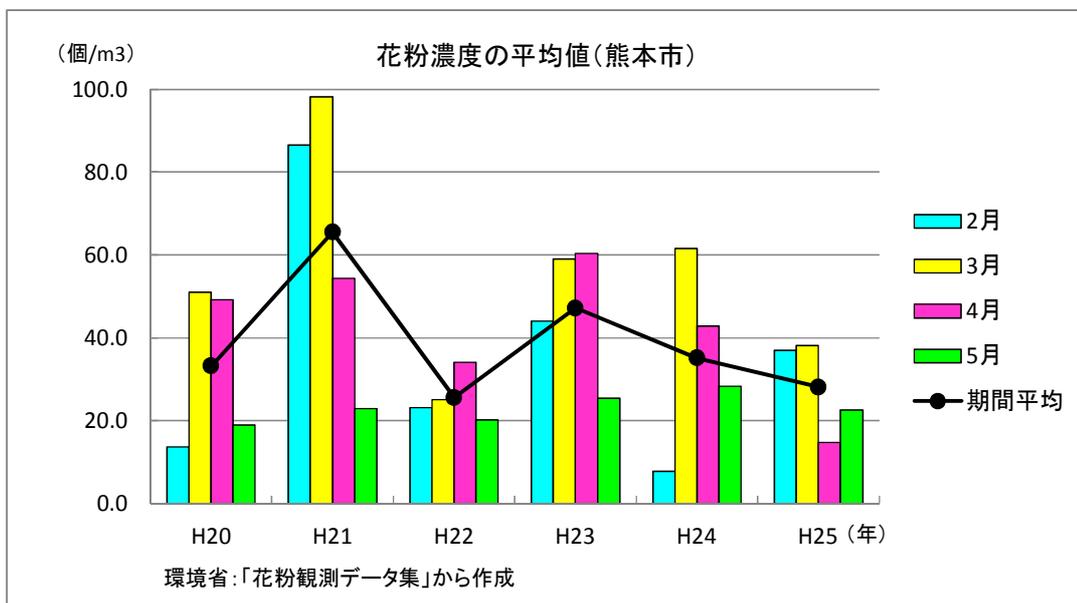
スギ・ヒノキの花粉飛散量は、前年の夏、特に7月上旬から8月中旬の日照時間や気温、降水量等に影響を受けます。また、大量飛散年の翌年はスギ雄花の着花量が減少し、花粉飛散量も減少する傾向があります。そこで、前年夏の気象条件、前年の花粉飛散量などから、当年の花粉飛散量を予測しているとのことです。

今年の熊本の花粉飛散量はどうでしょうか？

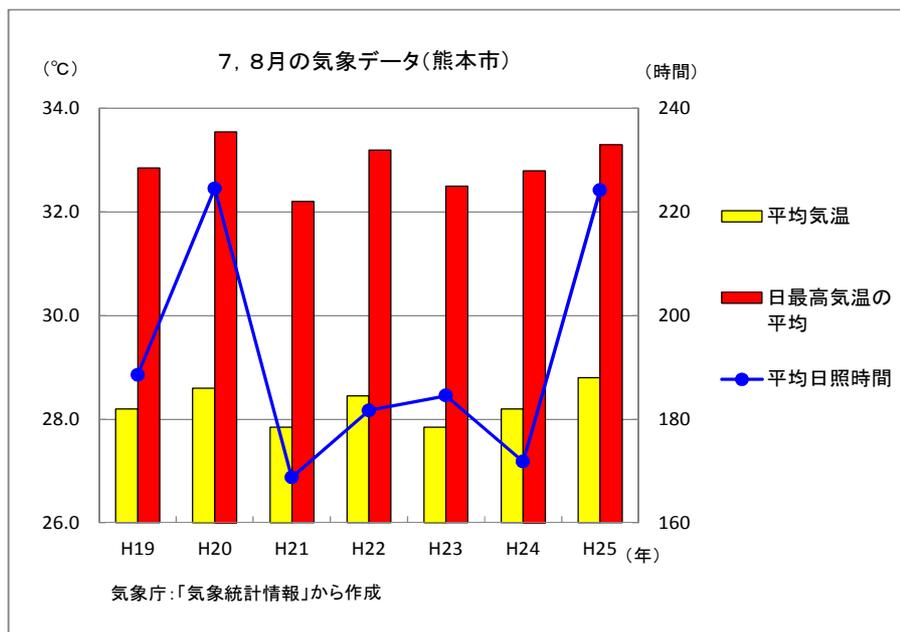
環境省の報道発表資料によると、熊本市の今年の花のピークは2月下旬、花粉飛散量(スギ・ヒノキ)は昨年よりやや少ない(前年比79%)との予測であり、ほぼ平年並みと考えていいようです。

それでは、前年夏の気象条件と今年の花の飛散量はどのような関係になっているのでしょうか？

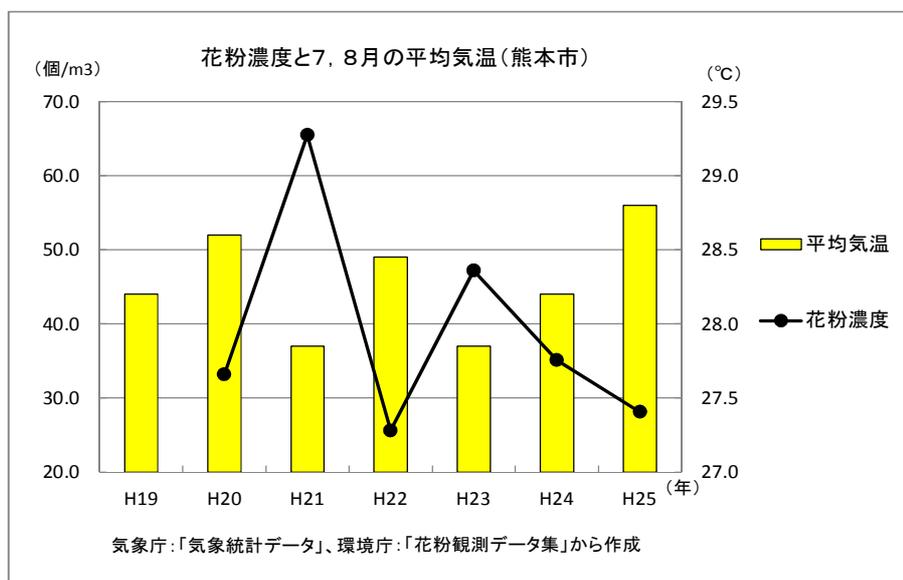
今年はまだ花粉のシーズンが終わっていませんので、過去のデータを見てみましょう。下のグラフは、平成20年から平成25年までの熊本市における「花粉濃度の平均値」です。平成21年は花粉濃度の平均値が高い＝花粉の飛散量が多いことが分かります。



次のグラフは、平成 19 年から平成 25 年までの熊本市における7, 8月の「平均気温」、「日最高气温の平均」、「平均日照時間」です。一部例外もありますが、平均日照時間が長い年は、平均気温、日最高气温の平均も高い傾向にあることが分かります。



次は、平均気温(7, 8月)と花粉濃度(2~5月の平均)をグラフで表したものです。



グラフを見ると、平均気温が高い年の翌年は、花粉量が多い傾向にあるようです。平成 25 年は平均気温が高かったため、平成 26 年の花粉量が多いという予想ができますが、環境省の予測では、平成 26 年の熊本市の花粉量はほぼ平年並み…。前述したように花粉飛散量は、前年の平均気温だけではなく日照時間、降水量や前年花粉飛散量なども影響することから、平均気温だけで完全な予測はできませんが、参考程度にはなるのではないのでしょうか？

今年の夏が猛暑だった場合、花粉症の人は来年の花粉対策を十分に行った方がいいかもしれませんね。

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、4月25日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp